

6

三権分立と選挙・地方自治

学習日

/

確認問題

1 重要語句の確認 次の問いに答えなさい。

□(1) 三権分立について、次の問いに答えなさい。

□① 国会について、次の問いに答えなさい。

- A 国会に与えられている国政上の権限を何といますか。
- B 議会が2つの議院からなるしくみを何といますか。
- C 国会を構成している2つの議院のうち、任期が短い方の議院を何といますか。
- D 毎年1回1月に開かれ、予算の審議が行われる国会は何ですか。
- E 国会が国の政治全般に関して調査できる権限を何といますか。
- F 国会が問題のあった裁判官をやめさせるべきかどうか決定するために設ける裁判所を何といますか。

□② 内閣について、次の問いに答えなさい。

- A 内閣に与えられている国政上の権限を何といますか。
- B 内閣が国会の信任のもとに成立し、国会に対して連帯して責任を負うしくみを何といますか。
- C 内閣を構成する、内閣総理大臣以外の大臣を何といますか。

□③ 裁判所について、次の問いに答えなさい。

- A 裁判所に与えられている国政上の権限を何といますか。
- B 「憲法の番人」と呼ばれる日本の終審裁判所を何といますか。
- C 裁判所に与えられている、法律や規則などが憲法に違反していないかどうかを判断する権限を何といますか。
- D 犯罪事件を審理する裁判を何といますか。
- E 同一事件について3回まで裁判を受けられる制度を何といますか。

□(2) 選挙について、次の問いに答えなさい。

- ① 民主主義の選挙の四大原則は、平等選挙と直接選挙、秘密選挙ともう一つは何ですか。
- ② 同じ主義や政策をもつ人々が、その主義や政策を実現することを目的として組織する集まりを何といますか。

□(3) 地方自治について、次の問いに答えなさい。

- ① 地方自治体が法律の範囲内で制定する、その地方だけに有効なきまりを何といますか。
- ② 住民が地方自治体の政治に関する要求を一定数の署名に基づいて首長などに請求できる権利をまとめて何といますか。
- ③ 各地方自治体の財政格差を少なくするため、使いみちを指定せず、国から地方自治体に配分される補助金を何といますか。

(1)

①

A

B

C

D

E

F

②

A

B

C

③

A

B

C

D

E

(2)

①

②

(3)

①

②

③

確認問題

2 日本国憲法の確認 次の日本国憲法の条文中の空欄にあてはまる数字・語句をそれぞれ答えなさい。

□(1) <第6条①>

天皇は、□の指名に基いて、内閣総理大臣を任命する。

(1) _____

□(2) <第6条②>

天皇は、□の指名に基いて、最高裁判所の長たる裁判官を任命する。

(2) _____

□(3) <第15条②>

すべて□は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。

(3) _____

□(4) <第45条>

衆議院議員の任期は、□年とする。但し、衆議院解散の場合には、その期間満了前に終了する。

(4) _____

□(5) <第46条>

参議院議員の任期は、□年とし、3年ごとに議員の半数を改選する。

(5) _____

□(6) <第54条①>

衆議院が解散されたときは、解散の日から40日以内に、衆議院議員の総選挙を行い、その選挙の日から□日以内に、国会を召集しなければならない。

(6) _____

□(7) <第60条①>

□は、さきに衆議院に提出しなければならない。

(7) _____

□(8) <第66条②>

内閣総理大臣その他の国务大臣は、□でなければならない。

(8) _____

□(9) <第69条>

内閣は、衆議院で不信任の決議案を可決し、又は信任の決議案を否決したときは、10日以内に衆議院が解散されない限り、□をしなければならない。

(9) _____

□(10) <第76条③>

すべて裁判官は、その□に従い独立してその職権を行い、この憲法及び法律にのみ拘束される。

(10) _____

□(11) <第79条②>

最高裁判所の裁判官の任命は、その任命後初めて行われる衆議院議員総選挙の際□の審査に付し、その後10年を経過した後初めて行われる衆議院議員総選挙の際更に審査に付し、その後も同様とする。

(11) _____

□(12) <第92条>

地方公共団体の組織及び運営に関する事項は、□の本旨に基いて、法律でこれを定める。

(12) _____

練 成 問 題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本はあ政治の権力を3つに分けており、そのうちの一つである立法権はい国会が分担しています。国会はう衆議院とえ参議院からなり、いくつかの事項について、お衆議院の議決に参議院より強い権限が認められています。

□(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① 国家権力を立法・行政・司法に分けて相互に抑制・均衡を図り、権力の濫用を防ごうとする考え方を何といいますか、答えなさい。
- ② ①で答えた考え方を提唱し、『法の精神』を著したフランスの啓蒙思想家は誰ですか、答えなさい。

□(2) 下線いについて、次の問いに答えなさい。

- ① 内閣が必要と認めるとき、または両院のどちらかの議院の総議員の4分の1以上の要求があったときに召集される国会を何といいますか、答えなさい。
- ② 本会議や委員会の会議が成立するために必要な出席議員数を何といいますか、答えなさい。
- ③ 委員会が必要と認めるときに学者や利害関係者を呼んで国民の意見を聞く会議を何といいますか、答えなさい。

□(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

- ① 衆議院議員の任期は何年ですか、答えなさい。
- ② 現在の衆議院議員の選挙区制度を何といいますか、答えなさい。

□(4) 下線えについて、次の問いに答えなさい。

- ① 参議院議員の任期は何年ですか、答えなさい。
- ② 衆議院の解散中に国に緊急の必要がある場合に開かれる参議院の会議を何といいますか、答えなさい。

□(5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

- ① このことを何といいますか、答えなさい。
- ② 次の日本国憲法第59条の条文中の□にあてはまる語句をあとから1つ選び、記号で答えなさい。

衆議院で可決し、参議院でこれと異なった議決をした法律案は、衆議院で出席議員の□の多数で再び可決したときは、法律となる。

- ア 3分の1以上 イ 3分の2以上
ウ 4分の1以上 エ 過半数

- ③ 衆議院の議決に参議院より強い権限が認められている事項として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 予算の決議 イ 内閣総理大臣の指名
ウ 条約の承認 エ 憲法改正の発議

(1)

① _____

(2)

② _____

(2)

① _____

(2)

② _____

(3)

① _____

(2)

② _____

(4)

① _____

(5)

① _____

(2)

② _____

(3)

③ _____

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

予算や法律に基づいて実際に国や地方の政治を行うことをあ行政といいます。国のい行政機関の頂点に立ち、行政全体をまとめているのがう内閣です。え内閣は国会の信任に基づいて成立し、国会に対して連帯して責任を負います。

□(1) 下線あについて、地方の行政が適正に行われているかどうかを監視したり、行政に対する苦情の解決を推進したりする人を一般に何といいますか、答えなさい。

(1) _____

□(2) 下線いについて、次の各文で述べている行政機関をあとからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(2) _____

- ① 国の財政・金融の業務を行う行政機関です。
- ② 国家財政の収支について検査する、内閣から独立した行政機関です。

① _____

② _____

- ア 総務省 イ 内閣法制局 ウ 財務省 エ 文部科学省
- オ 法務省 カ 会計検査院 キ 外務省 ク 人事院

□(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

(3) _____

- ① 政権を担当する政党を何といいますか、答えなさい。
- ② 内閣は、天皇の国事行為に対して何を行いますか、答えなさい。
- ③ 内閣総理大臣が議長になり、すべての国务大臣が参加して行われる会議を何といいますか、答えなさい。

① _____

② _____

③ _____

□(4) 下線えについて、次の日本国憲法第69条の条文中の□にあてはまる数字をあとから一つ選び、記号で答えなさい。

内閣は、衆議院で不信任の決議案を可決し、又は信任の決議案を否決したときは、□日以内に衆議院が解散されない限り、総辞職をしなければならない。

- ア 10 イ 30 ウ 40 エ 60

(4) _____

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

裁判は大きく□裁判とあ刑事裁判に分けられ、い原則として1つの事件について3つの段階まで裁判を求めることができます。このうち刑事裁判は、犯罪行為について有罪か無罪かを決定する裁判であり、有罪の場合にはう裁判所によって刑罰が言いわたされます。

□(1) □にあてはまる語句を答えなさい。

(1) _____

□(2) 下線あにおいて、訴える側である原告となるものはどれですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 警察官 イ 検察官 ウ 被告人 エ 弁護士

(2) _____

□(3) 下線いについて、第二審の判決に不服な場合上級の裁判所に裁判のやり直しを求めることを何といいますか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 起訴 イ 控訴 ウ 上告 エ 再審

(3) _____

□(4) 下線うについて、下級裁判所のうち全国の主要都市8か所に置かれているものを何といいますか、答えなさい。

(4) _____

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ国民が主権者として政治に参加する最も重要な機会は選挙です。日本では第二次世界大戦以前は、納税額や性別による選挙が行われていましたが、現在ではい民主主義的な選挙が行われています。選挙権は[X]歳以上の全ての男女に与えられており、立候補することができる被選挙権は、う衆議院議員や地方議会議員は[Y]歳以上の全ての男女に、また、参議院議員や都道府県知事は[Z]歳以上の全ての男女に与えられています。

□(1) 多くの下線あの見解や考えがまとまったものを何といいますか、答えなさい。

(1) _____

□(2) 下線いの原則として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 制限選挙 イ 直接選挙 ウ 平等選挙 エ 秘密選挙

(2) _____

□(3) [X]～[Z]にあてはまる数字の正しい組み合わせを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア X=18, Y=20, Z=25 イ X=20, Y=20, Z=25

ウ X=20, Y=25, Z=30 エ X=18, Y=25, Z=30

(3) _____

□(4) 下線うの選挙制度は、小選挙区比例代表並立制がとられています。

このうち、小選挙区制について正しく述べているものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 1つの選挙区から1人の代表が選ばれ、死票がほとんど出ません。

イ 1つの選挙区から1人の代表が選ばれ、小政党の候補者は不利です。

ウ 1つの選挙区から複数の代表が選ばれ、多党化の傾向が進みます。

エ 政党に投票する選挙区制度であり、二大政党制の維持に適しています。

(4) _____

5 次の表は、地方自治における住民の直接請求のしくみを表しています。これを見て、あとの問いに答えなさい。

請求の種類	必要な署名	請求先
(A) の制定・改廃の請求	(有権者の)50分の1以上	首長
監査請求	(B)	監査委員
地方議会の解散請求	3分の1以上	(C)
地方議会議員・首長の解職請求	3分の1以上	(C)

□(1) (A) にあてはまる最も適当な語句を答えなさい。

(1) _____

□(2) (B) にあてはまる語句を次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 50分の1以上 イ 4分の1以上

ウ 3分の1以上 エ 過半数

(2) _____

□(3) (C) に共通してあてはまる語句を答えなさい。

(3) _____

□(4) 下線部について、次の問いに答えなさい。

(4) _____

□① 地方議会議員や首長の任期は何年ですか、答えなさい。

① _____

□② 市町村長の補佐役を何といいますか、答えなさい。

② _____

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ日本は、国政の権力を3つの機関に分担させており、それぞれが互いを抑制し均衡しあうしくみをとっています。一方い地方自治においては、このしくみはとられていませんが、う議院内閣制に似た制度が導入されています。

□(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

□① 立法権を司る国会について、次の問いに答えなさい。

□A 衆参両院の意見が一致しないときに妥協案をつくるために組織される会を何といいますか、答えなさい。

□B 衆議院と参議院について正しく述べているものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 被選挙権は、衆議院も参議院も同じ年齢で与えられます。
- イ 議員定数は、参議院よりも衆議院の方が多くなっています。
- ウ 憲法改正の発議は、衆議院の仕事です。
- エ 特別国会は、参議院議員のみが出席します。

□C いくつかの事項について衆議院に参議院よりも強い権限が認められている理由を説明しなさい。

□② 行政権を司る内閣の仕事として**不適当なもの**を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 政令の制定 イ 最高裁判所の長官の任命
- ウ 予算の作成 エ 国会の召集の決定

□③ 司法権を司る裁判所について、次の問いに答えなさい。

□A 第一審の判決に不服な場合に上級の裁判所に裁判のやり直しを求めることを何といいますか、答えなさい。

□B 日本の裁判所は大きく、最高裁判所と下級裁判所に分類できます。このうち、下級裁判所に**含まれないもの**を次からすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 簡易裁判所 イ 特別裁判所 ウ 地方裁判所
- エ 高等裁判所 オ 家庭裁判所 カ 弾劾裁判所

□(2) 下線いについて、右下のグラフは、地方財政の歳入の項目別割合を示しています。グラフ中の※にあてはまる、国が使いみちを定めて地方自治体に配分する補助金の名称を答えなさい。

□(3) 下線うについて、国会と内閣の関係に関して正しく述べているものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

地方税	地方交付税	※	地方債	その他
44.3%	18.3	17.0	10.4	10.0

(2019年版「日本国勢図会」より)

- ア 内閣は、必要なときはいつでも衆参両院の解散を決定できます。
- イ 内閣総理大臣は、国会によって衆議院議員の中から指名されます。
- ウ 国務大臣の過半数は、国会議員でなければなりません。
- エ 衆参両院は、内閣不信任の決議をして、内閣の責任を追及できます。

(1)

①

A _____

B _____

C _____

② _____

③ _____

A _____

B _____

(2) _____

(3) _____
